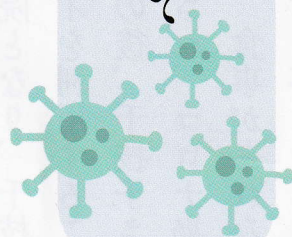


誤嚥性肺炎について



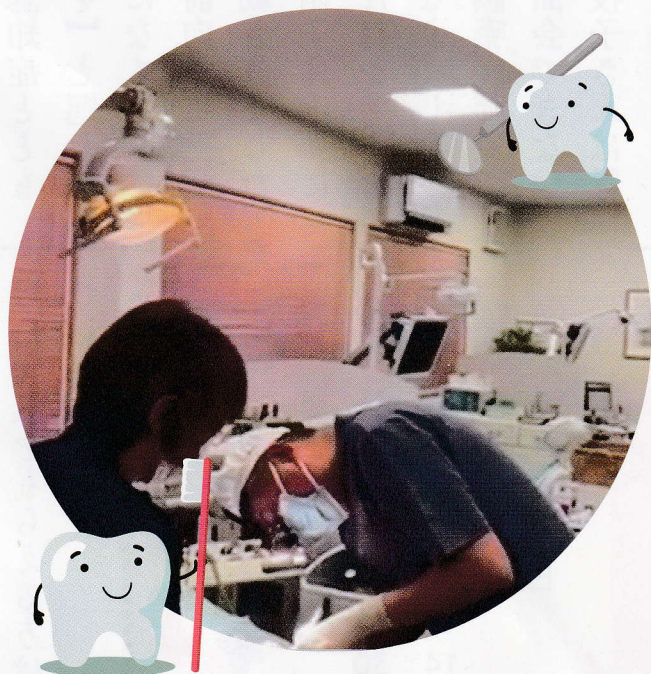
誤嚥性肺炎とは、文字通り食べ物や唾液が嚥下（飲み込む）時に誤って気道に入ることがきっかけとなり、主に口の中の細菌が肺に入り込んで起こる肺炎のことで、他者から感染するものではありません。

誤嚥は食事中や睡眠中でも唾液が肺に流れ込んで起きることもあります。

高齢化・認知症・神経病が進行すると誤嚥は起こりやすくなるのに対し、咳反射は弱くなり誤嚥した物は吐き出すことが難しくなります。

そこで、誤嚥性肺炎を予防する為として普段からの口腔ケアや口の周りや舌の筋肉を鍛えるセルフケアが有効になります。

また他の肺炎と同様に咳や発熱などの症状以外にも、元気がない、食欲不振などの肺炎と結びつきにくい症状の誤嚥性肺炎もありますので、周囲の方は普段と様子が違ったら医療機関を受診するよう勧めてください。



治療には抗菌薬の服用や嚥下指導や口腔ケアの指導などが行われます。

口腔ケアの仕方や注意点は個人の口腔内の状態や、自分でケアをするか、介助者がケアをするかによっても違うため歯科医師や歯科衛生士のアドバイスを受けましょう。

誤嚥性肺炎を防ぐことは生活の質を守ることに繋がります。未来の健康を見据えた選択をぜひ意識してみてください。

兵野歯科診療所

院長

兵埜

文則

